

戦略的まちづくり方針

- ◆長万部駅周辺における重点的な都市整備の推進
 - ・東口駅前広場(海側)は、本町通の拡幅整備と一体的な街路事業整備を推進するとともに土地区画整理事業の導入を検討
 - ・広域的な観光交流拠点となる「まちの駅」を整備
 - ・西口駅前広場(山側)と中山大通間のアクセス向上のため、道路整備等を含め土地区画整理事業の導入を検討
 - ・駅の東西を結ぶ自由通路を整備、これまで分断されてきた東西市街地間の移動の利便性を高め、駅周辺の一体的な開発、整備を推進
- ◆中心市街地における駅を中心とした回遊動線の形成
 - ・駅を中心とした回遊動線の形成を図り、新幹線利用客の長万部町への立ち寄りや滞在時間の増加による地域の活性化を図る
- ◆新幹線開業効果を活かす地域マネジメント体制の構築
 - ・まちの駅の運営や空き地、空き店舗対策などに対する地域マネジメント体制の構築
 - ・新規に参入しやすい仕組みづくり



計画の推進方針

◆計画推進体制の構築

住民、事業者、行政の協働体制づくり

住民、事業者、行政が各々の役割分担と協働によって、これからのまちづくりを推進します。

行政内の横断的な協力体制づくり

関係各課の横断的な協力体制づくりを推進し、計画の実現に向けた取り組みを図ります。

関係機関との協調体制づくり

施策の支援制度の動向などについて国や北海道等の関係機関との調整・協議を重ねる必要があり、社会情勢の変化に対応できるよう関係機関との協調体制づくりを図るとともに、周辺関係市町村や民間関係団体なども含めた幅広い協調体制づくりを推進します。

◆重点プロジェクト推進体制の構築

行政内の横断的な協力体制づくりに加え、庁内プロジェクト会議をはじめとした事業マネジメント体制を構築し、事業の進行管理、各種協議調整など事業の確実な実施を図ります。

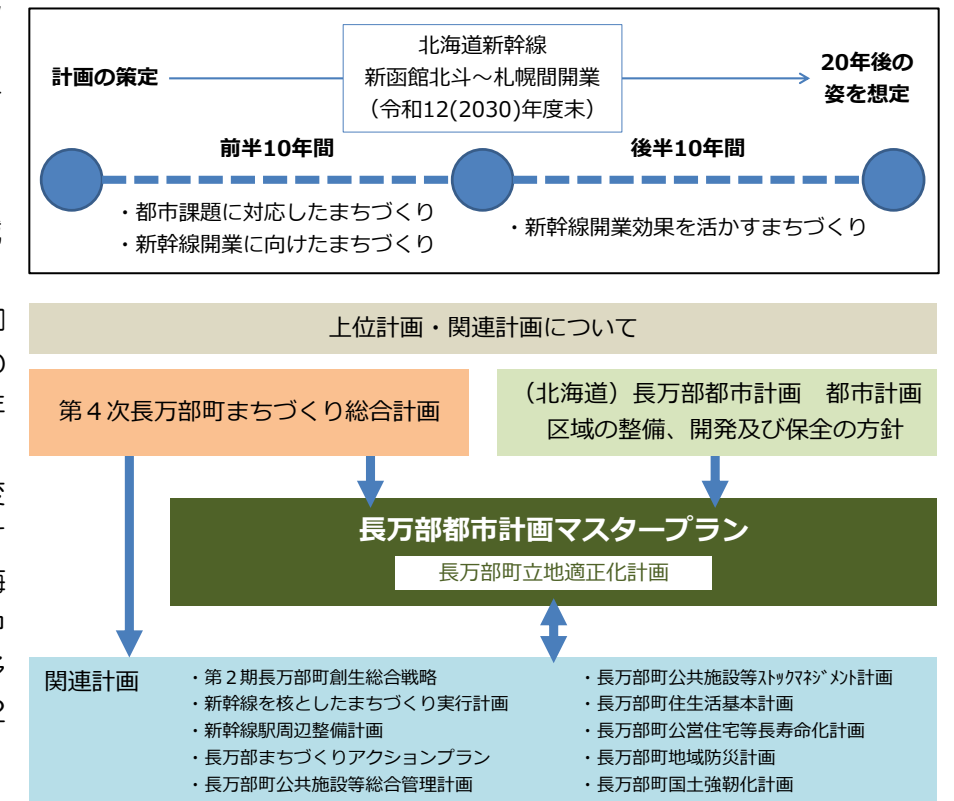
さらにまちの駅や本町通の整備にあたっては、地域と一体となったマネジメント体制の構築を図ります。

都市計画マスタープランの策定目的等

長万部都市計画マスタープランは、本町の20年後の姿を想定し、長期的・総合的な都市づくりの方針を示すものです。

本計画は、長万部都市計画区域を対象として、新幹線の開業から開業後のまちの変化を見据え、令和3(2021)年度から概ね20年後の令和22(2040)年度までを目標年次として設定します。

計画の進捗状況や社会情勢の変化等を考慮した現実的な計画とするための計画の見直し時期は、北海道新幹線の札幌延伸がおおむね中間年の令和12(2030)年度と予定されていることから、令和12(2030)年度前後とします。



まちづくりの方向性

まちづくりの現状と問題点、上位計画関連計画の方向性からまちづくりの課題を整理し、これらを踏まえ、まちづくりの方向性として図に示す3点を設定しました。



まちづくりの方向性



将来都市構造



都市構造を規定する広域的な交通骨格軸	北海道縦貫自動車道、国道5号、国道37号
広域的な骨格軸を補完する市街地骨格軸	本町通、中山大通、中央通
今後20年間を見据えた重点市街地拠点	北海道新幹線開業前、開業後のまちづくりを推進する拠点
戦略的土地利用ゾーン	中低層住宅や学校施設の将来的な防災移転候補地及び北海道新幹線開業後の移住定住戦略のための活用候補地

分野別都市づくりの基本方針

土地利用	(1)持続可能な適正規模の市街地の形成 (2)新幹線開業・都市防災を見据えた計画的な土地利用の誘導 (3)防災及び移住定住に向けた戦略的土地利用ゾーンの検討
道路・交通	(1)総合的な交通ネットワークの整備 (2)交通結節機能及び2次交通の充実 (3)中心市街地におけるバリアフリー化の推進
公園・緑地	(1)緑豊かで魅力ある都市環境の形成 (2)計画的な公園・緑地の整備 (3)内浦湾の海岸線を楽しむ空間形成の推進 (4)パートナーシップによる維持管理体制の構築
都市施設	(1)安定した供給処理施設の整備促進及び維持管理 (2)公共公益施設の計画的な整備・再編
防災等	(1)災害被害軽減に向けた対策の推進 (2)災害危険区域における治山・治水整備の促進 (3)避難施設の整備推進
戦略的まちづくり方針	(1)長万部駅周辺における重点的な都市整備の推進 (2)中心市街地における駅を中心とした回遊動線の形成 (3)新幹線開業効果を活かす地域マネジメント体制の構築
土地利用	◆持続可能な適正規模の市街地の形成 ・市街地区域は現状のまま拡大せず、持続可能な適正規模の市街地の形成を図る ・既存の土地利用状況をベースに、住・商・工を適正に配置 ◆新幹線開業・都市防災を見据えた計画的な土地利用の誘導 ・東口周辺地域(海側)を長万部町の顔として商業機能を誘導 ・西口周辺地域(山側)は複合機能を有する住宅地として位置付け、長期的な視点で西口周辺地域(山側)への公共公益施設の誘導について検討、住宅地についても鉄道西側市街地を中心とした土地利用誘導を図る ◆防災及び移住定住に向けた戦略的土地利用ゾーン ・大規模町有地(旧苗畑跡地)について、中低層住宅や学校施設の将来的な防災移転候補地として検討 ・北海道新幹線開業後の移住定住戦略として、優良田園住宅等をはじめとする住宅施策の導入を図る候補地の一つとして検討
道路・交通	◆総合的な交通ネットワークの整備 ・北海道新幹線開業を見据えて重要となる区間について、段階的な整備を推進 →駅東口(海側)から国道5号までの本町通 →駅西口(山側)から中山大通を結ぶ新たなアクセス道路、アクセス道路から国道5号までの区間の中山大通 ◆交通結節機能及び2次交通の充実 ・駅の東西に駅前広場を整備 →東口(海側)はバス交通の拠点、西口(山側)は自家用車対応を中心 ・駅の東西を結ぶ自由通路を設置 ◆中心市街地におけるバリアフリー化の推進 ・バリアフリーマスタープランを策定 ・事業計画であるバリアフリー基本構想を段階的に策定 ・市街地整備と連携を図りながら、誰もが円滑に移動できるまちづくりを推進

公園・緑地

- ◆緑豊かで魅力ある都市環境の形成
- ・点在する公園・緑地を結ぶ緑のネットワークを構築、自然環境と調和した都市環境の形成
- ・豊かな緑と内浦湾沿岸のパノラマを活かした長万部らしい魅力ある都市景観の形成
- ◆計画的な公園・緑地の整備
- ・長万部公園、とみのの森、あやめ公園及びふれあい公園の機能の向上と維持保全
- ・北海道新幹線関連整備に伴い、都市全体における公園・緑地の配置を検討
- ・誘致距離圏を考慮した公園・緑地の整備を推進
- ◆内浦湾の海岸線を楽しむ空間形成の推進
- ・駅前通と国道5号の交点付近を海の交流拠点と位置付け、内浦湾の海岸線を楽しめる空間形成を推進
- ◆パートナーシップによる維持管理体制の構築
- ・住民・事業者と行政のパートナーシップに基づく維持管理体制づくり

都市施設

- ◆安定した供給処理施設の整備促進及び維持管理
- 上水道：水質の保全と水量の確保、水道供給施設の計画的な整備改善を推進
- ガス：ガスの安定供給に向けた供給施設の整備改善を図りつつ、ガス事業運営の今後の方向性についての検討
- 下水道：市街地内とその周辺地域は公共下水道、市街地以外の地区は個別排水処理施設として、地域特性に応じた汚水処理対策を推進
- 公共下水道における雨水管の計画的な整備を推進
- ごみ：ごみの減量化・再資源化の推進
- 近隣市町村と連携した広域的なごみ処理体制の充実
- ◆公共公益施設の計画的な整備・再編
- ・長万部町公共施設等総合管理計画に基づき、計画的な整備・再編を推進
- ・更新や統廃合が検討される公共公益施設については、長万部駅西口周辺地域への再配置の可能性について検討
- ・将来的な防災移転候補地として戦略的土地利用ゾーンを検討

防災等

- ◆災害被害軽減に向けた対策の推進
- ・地震・水害・火災等の災害から住民の生命・財産を守り、安全で安心して都市生活が営めるよう、防災対策を推進
- ・公共公益施設については、災害危険区域ではない地域への立地誘導など、長期的視点による土地利用の誘導
- ・災害時における迅速な避難・救助活動に対応するとともに、防火帯としての役割も果たす主要避難路の整備を推進
- ◆災害危険区域における治山・治水整備の推進
- ・高波・高潮・津波等警戒区域、地すべり・がけ崩れ等危険区域、市街地における低地帯の浸水予想区域などの災害危険区域における治山・治水整備を推進
- ◆避難施設の整備の推進
- ・避難場所・避難施設の整備充実、一時的な避難場所となり防火帯としての役割を果たす公園・緑地の計画的な整備を推進
- ・駅周辺の都市施設整備にあたっては、防災機能もあわせ持つ整備を推進